

県道前橋館林線（本町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

- ・災害時に電柱が道をふさがないようにしてほしい。（地元住民）
- ・段差（マウントアップ）や路面が滑りやすい舗装材料であるため危険である。（学校関係者、地元企業）



事業の概要

- 事業箇所: 太田市本町～東本町
- 事業内容: 電線共同溝 延長1,400m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量: 18,302台/日(自動車) (R3年度) 59人/12時間(歩行者) 3台/12時間(自転車)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ

今、何をしているか

令和7年度は、引き続き、電線共同溝の管路工事を進めます。



成果を示す項目	実施前
交通拠点と防災拠点間(太田桐生IC～太田行政県税事務所・太田記念病院)の無電柱化率	9%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
21%
なし

事業のすすみ具合

